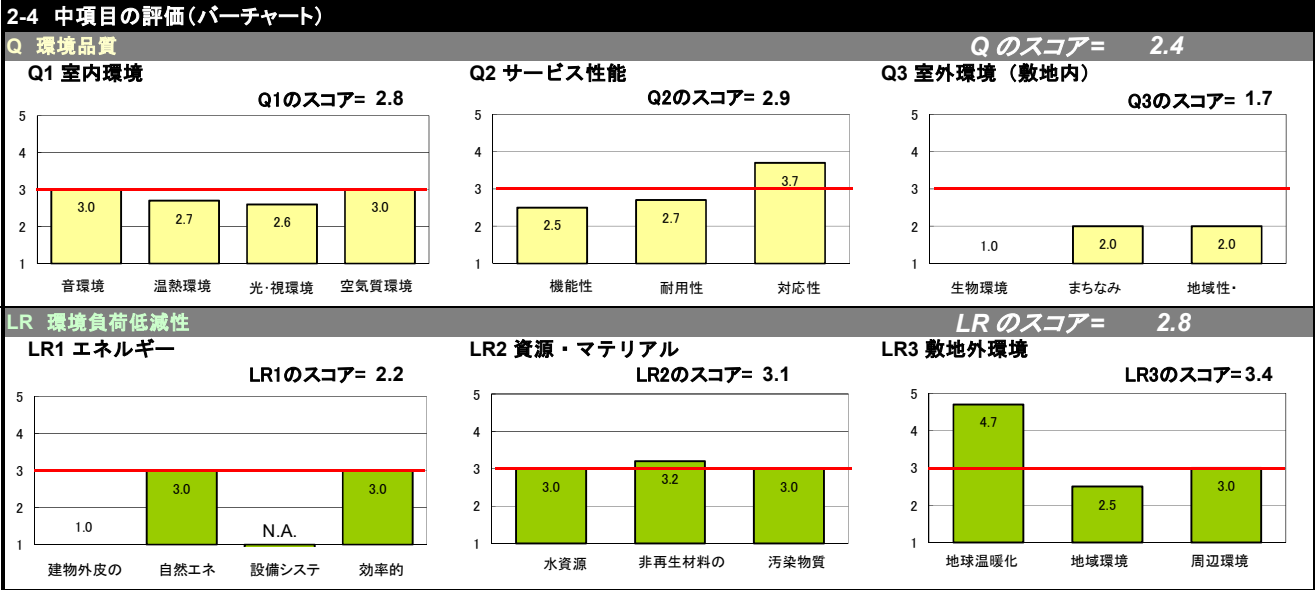
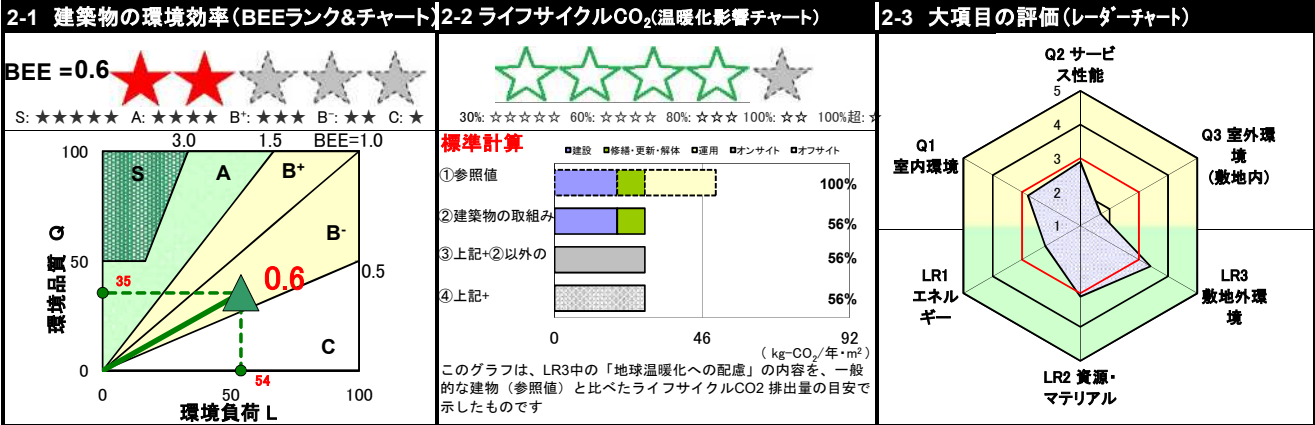


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	パーカー加工株式会社浜松工場新	階数	地上2F
建設地	静岡県浜松市南区三島町長通14	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火指定なし	平均居住人員	57 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2024年12月 竣工	評価の実施日	2024年11月15日
敷地面積	5,973 m ²	作成者	宮本操
建築面積	3,796 m ²	確認日	2024年11月15日
延床面積	6,298 m ²	確認者	宮本操



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
用途が工場であるため、生産性及びコストを重視し、特別な配慮はしていません。		特に配慮している項目はありません。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
事務所の天井高さを3.5m確保します。	事務エリアの床はOAフロアを用いているが、工場エリア等その他の部分には特別な配慮はしていません。	1期工事では、特に配慮している項目はありません。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
一次エネルギー消費量=0.0BEIm	鉄骨造にて計画しているため、構造材と仕上材の分別は容易に行うことができます。	特に配慮している項目はありません。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE®-建築(新築) 2021年SDGs対応版

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_速報版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	パーカー加工株式会社浜松工場新	階数	地上2F
建設地	静岡県浜松市南区三島町字長通14	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火指定なし	平均居住人員	57 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2024年12月 竣工	評価の実施日	2024年11月15日
敷地面積	5,973 m ²	作成者	宮本操
建築面積	3,796 m ²	確認日	2024年11月15日
延床面積	6,298 m ²	確認者	宮本操



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価結果(レーダーチャート)
BEE = 0.6 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 	 標準計算 ①参照値 100% ②建築物の取組み 56% ③上記②以外の 56% ④上記+ 56% このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したものです	 * SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

2-4 中項目の評価(バーチャート)			
Q 環境品質 Q のスコア = 2.4			
Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.8 	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9 	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.7 	
LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 2.8			
LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.2 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4 	

3 設計上の配慮事項		
総合 用途が工場であるため、生産性及びコストを重視し、特別な配慮はしていません。		
その他 特に配慮している項目はありません。		
Q1 室内環境 事務所の天井高さを3.5m確保します。	Q2 サービス性能 事務エリアの床はOAフロアを用いているが、工場エリア等その他の部分には特別な配慮はしていません。	Q3 室外環境(敷地内) 1期工事では、特に配慮している項目はありません。
LR1 エネルギー 一次エネルギー消費量=0.0BEIm	LR2 資源・マテリアル 鉄骨造にて計画しているため、構造材と仕上材の分別は容易に行うことができます。	LR3 敷地外環境 特に配慮している項目はありません。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

1. 建物概要											
建物名称	バーカー加工株式会社浜松工場新工場計画				BEE	0.6	BEEランク	B-	★★		
2. 重点項目への取組み度											
重点項目	得点※/満点		取組み度				評価				
”ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	2.7	/5					がんばろう				
”災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	2.3	/5					がんばろう				
”しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	2.5	/5					がんばろう				
”緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	2.0	/5					がんばろう				
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示 します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例		よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満				
3. 重点項目についての環境配慮概要											
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。					内訳対応項目						
”ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)					得点		2.7				
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) 事務所の天井高さを3.5m確保します。				Q-1	2	2.1	2.1.2	①	外皮性能	
					Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備	
							3.2	3.2.1	③	昼光制御	
					Q-2	2	2.2	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数	
							2.2.2	2.2.2	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
							2.2.3	2.2.3	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
							2.2.4	2.2.4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔	
							2.2.5	2.2.5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔	
							2.2.6	2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔	
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 特に配慮している項目はありません。				Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出	
					3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上		
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) 特に配慮している項目はありません。 一次エネルギー消費量=0.0BEI/m				LR-1	1			⑦	建物外皮の熱負荷抑制	
						2			⑧	自然エネルギー利用	
						3			⑨	設備システムの高効率化	
						4	4.1		⑩	モニタリング	
							4.2		⑩	運用管理体制	
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) 鉄骨造にて計画しているため、構造材と仕上材の分別は容易に行うことができます。				LR-2	1	1.1		⑪	節水	
							1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無	
								1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無	
					2	2.1			⑫	材料使用量の削減	
							2.2		⑫	既存建築躯体等の継続使用	
						2.3		⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用		
						2.4		⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		
						2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材		
						2.6		⑫	部材の再利用可能性向上への取組み		
				3	3.1			⑬	有害物質を含まない材料の使用		
						3.2	3.2.1	⑬	消火剤		
						3.2.2		⑬	断熱材		
						3.2.3		⑬	冷媒		
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) 特に配慮している項目はありません。				LR-3	1			⑭	地球温暖化への配慮		
					2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善		
”災害に強いしずおか”の形成(Disaster)					得点		2.3				
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 事務エリアの床はOAフロアを用いているが、工場エリア等その他の部分には特別な配慮はしていません。				Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性	
								2.1.2	⑯	免震・制振性能	
							2.4	2.4.1	⑰	空調・換気設備	
								2.4.2	⑰	給排水・衛生設備	
								2.4.3	⑰	電気設備	
								2.4.4	⑰	機械・配管支持方法	
								2.4.5	⑰	通信・情報設備	
	”しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)					得点		2.5			
		■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ㉑階高の最小高さは7.08m。㉒壁長さ比率は、0.065である。				Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画
							3	3.1	3.1.1	⑲	階高のゆとり
							3.1.2	⑲	空間の形状・自由さ		
■室外環境(敷地内)対策 (㉓地域性・アメニティへの配慮) 特に配慮している項目はありません。				Q-3	3	3.1		㉓	地域性への配慮、快適性の向上		
”緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)					得点		2.0				
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉔まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) 特に配慮している項目はありません。				Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出	
						2			㉔	まちなみ景観への配慮	
						3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上	
	■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善) 特に配慮している項目はありません。				LR-2	2	2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材	
					LR-3	2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善	